

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年12月20日

計画の名称	大山崎町における安全・安心な下水道整備（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	大山崎町												
計画の目標	雨水排水ポンプ場、汚水中継ポンプ場及びマンホールポンプの耐水化を推進することにより浸水時にもポンプ機能の維持または早期復旧を可能にし、安全で安心な下水道サービスを提供する。 内水浸水想定区域図を作成し、これを基に内水ハザードマップを作成し住民へ内水リスク情報を提供することにより適切な避難行動を促します。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	81	A	81	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和4年度当初	令和6年度末	令和8年度末
1	雨水排水ポンプ場、汚水中継ポンプ場及びマンホールポンプの耐水化率を0%（令和4年度）から100%（令和8年度）とする。 耐水化対策事業の進捗率 対策完了施設／対策予定施設（6施設）	0%	83%	100%
2	内水ハザードマップの全戸配布率0%（令和6年度）から100%（令和8年度）とする。 内水ハザードマップの全戸配布（全世帯、事業所、公共施設） 配布戸数／町内全戸数（7,300戸）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	×
大山崎町下水道施設耐水化計画（令和3年度策定）																

A 基幹事業																						
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
		種別	種別	対象	間接							R04	R05	R06	R07	R08						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	ポンプ	－	下水道施設耐水化	設計、工事	大山崎町	■	■	■	■	■	64		策定済			
		大山崎町下水道施設耐水化計画																				
	A07-002	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	－	－	内水浸水リスクマネジメ ント事業	内水浸水想定区域図、内水ハ ザードマップの作成	大山崎町			■	■	■	17		－			
											小計							81				
											合計								81			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

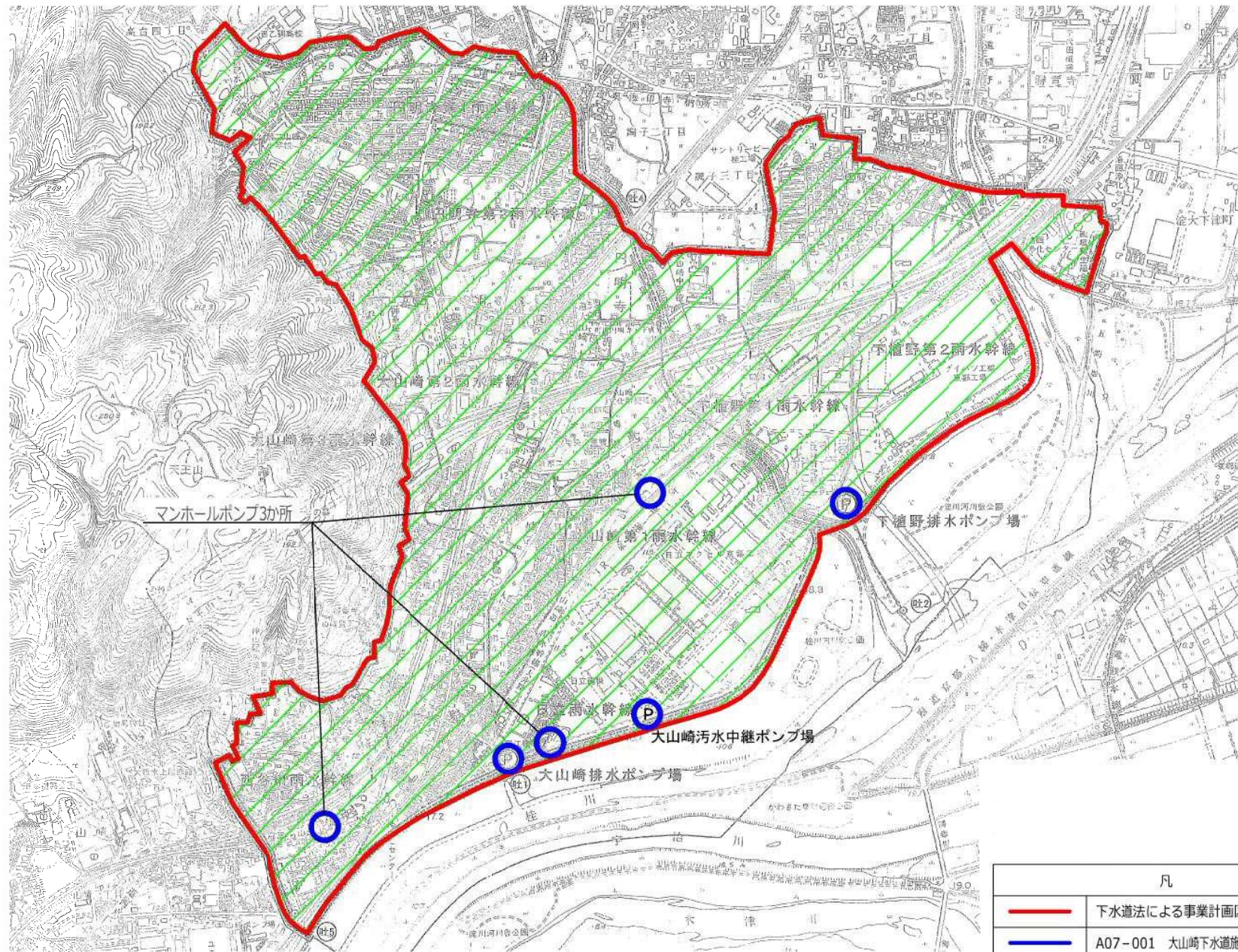
	R04	R05			
配分額 (a)	12	8			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	12	8			
前年度からの繰越額 (d)	0	5			
支払済額 (e)	7	8			
翌年度繰越額 (f)	5	5			
うち未契約繰越額 (g)	5	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	41.66	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	計画に関する諸条件	キ			




計画の名称 大山崎町における安全・安心な下水道整備（防災・安全）（重点計画）

計画の期間 令和4年度～令和8年度（5年間）

交付対象

大山崎町



凡 例	
	下水道法による事業計画区域
	A07-001 大山崎下水道施設耐水化
	A07-002 内水浸水リスクマネジメント

